

行政の報告

平成26年2月24日開会の占冠村議会臨時会ならびに、3月10日開会の占冠村議会定例会において12月定例会以降の行政の動きについて報告しましたので概要をお知らせします。

★湯の沢温泉薪ボイラー

占冠村総合計画（見直し）の答申を踏まえ、化石燃料から地域資源を有効に活用し、自然環境に配慮した循環型エネルギーへの転換をめざし、村有施設である「湯の沢温泉」に薪ボイラー施設を整備しました。

昨年12月20日に関係者を招き、「火入れ式」並びに「木質バイオマスセミナー」を行い、新エネルギーの地産地消に向けた取組みがスタートしました。

薪ボイラーの導入については、村内の林業事業者、湯の沢温泉指定管理者、NPO法人北海道新エネルギー普及促進協会（NEPA）のご協力と、北海道のご支援をいただき実施したものです。

「湯の沢温泉」の熱源を化石燃料（重油）から木質バイオマス燃料（薪）へ転換することで、二酸化炭素排出量と燃料費の削減をめざし、派生する雇用の創出と資金の地域内循環により地域振興が図られるものと認識しています。

薪ボイラーで使用する薪に

ついては、乾燥状態や針葉樹か広葉樹かによつて燃え方が違うことから、供給側、及び需要側双方連携によりこれらのデータを集積し、より効果的なものになるよう試行しています。

薪供給については、薪の品質を確保するため、本年10月以降に木質バイオマス生産組合が販売を開始する予定であります。

★しむかつぶ神楽まつり

2月10日に第2回占冠村伝統芸能事業実行委員会（会長占冠村長）を開催し事業の総括を行いました。

本実行委員会は、地域活性化と郷土芸能振興を目的に、昨年度より文化庁文化芸術振興費補助金の交付申請を行い、昨年度はトマム薪能が採択、本年度はしむかつぶ神楽まつりが採択されたものです。

実行委員会では2年間にわたる錦城神楽団との交流促進、演技指導によるレベルアップ、来場者への広島神楽の学習機会提供、テレビ放送さ

平成26年第1回

富良野広域連合議会定例会報告

平成26年第1回富良野広域連合議会定例会が、2月18日に開催されました。

本定例会では、広域連合の行政執行方針が広域連合長から示され、また、議案6件（予算2件、条例2件、その他2件）が提案され原案のとおり可決されました。

また、広域計画審査特別委員会から閉会中の継続審査となった「富良野広域連合広域計画の変更について」報告があり、審議の結果「原案のとおり可決すべきもの」と決定しました。

一般質問は1名で、村上和子議員（上富良野町）から「消防行政について」広域連合長に対し行われ閉会しました。

可決された主な案件は、次のとおりです。

議案第2号 平成25年度富良野広域連合一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ5億8,835万6千円を追加

【主な歳入補正】

- 市町村負担金増3,727万6千円
 - 消防手数料増（危険物許可申請手数料）66万円
 - 学校給食費収入減（富良野学校給食センター給食費収入等）▲171万円
 - 雑入増（高速道路路救急業務支弁金等）170万1千円
 - 消防債増（消防救急デジタル無線整備工事事業債等）4億2,890万円
 - 消防費国庫補助金増（消防救急デジタル無線整備費補助金等）1億2,119万4千円
 - 消防費国庫負担金増（金山幾寅停車場線防災B〔交安〕工事費負担金）26万5千円
- 【主な歳出補正】
- 一般管理費減（各種手当等）▲83万3千円
 - 衛生センター管理費減（管理運転費、各種手当等）▲867万1千円
 - 畜産業費減（牧場管理運営費、各種手当等）▲345万4千円
 - 消防本部費増（消防救急デジタル無線整備工事費等）5億1,968万円
 - 富良野消防署費減（一般事務費、一般職給料、各種手当等）▲270万7千円
 - 上富良野消防署費減（一般事務費、一般職給料、各種手当等）▲323万円
 - 中富良野支署費増（一般事務費、市町村職員共済組合負担金等）24万1千円

れたことによる宣伝効果といった評価をいたしました。また、アンケートの回答から村外より30パーセント、村民70パーセントの来場があり、9割の方々から満足したとの結果が得られました。

しむかつぶ神楽まつりを行ったことにより、本村のPRを含め地域の活性化と郷土芸能振興に寄与したと事業総括をしたところであります。

また、課題として占冠神楽の指導者不在、後継者確保の演目「八幡」への取組み、さらなる技術の向上が挙げられました。

村といたしましても教育委員会と連携を図りながら、郷土芸能である占冠神楽や占冠青巖太鼓の保存を引き続き支援してまいります。

★占冠村新規就農支援協議会開催

2月28日に占冠村新規就農支援協議会(会長 占冠村長)を開催いたしました。

本協議会は、占冠村、占冠村農業委員会、ふらの農業協同組合南富良野支所、上川農業改良普及センター、占冠村在住北海道指導農業士、占冠村酪農振興会占冠村肉牛振興会、占冠村農業経営研究会で構成し、新規就農者等の受け入れを円滑に進め、農業の担

い手確保、育成及び農地の流動化について意見をいただきました。本村の農業施策に反映していくものです。

今回は、本村で肉牛の繁殖経営を希望する若者が農家に農業体験をしており、村の補助制度が利用できる新規就農希望者として適正かどうかのご意見をいただきました。

協議の結果、実習への取組には問題がなく、提出された就農計画書が適正と判断されれば、4月より実習生として承認し実習費、研修費の助成を行います。3年間の実習を終えた後に新規就農者として自立する予定です。

また、すでに新規就農希望者として研修を積んでいるご夫妻の経過報告がありました。

ご夫妻は放牧酪農を希望しており、現在、村内酪農家で実習を行い、酪農経営、乳牛の飼育技術等の習得に懸命であります。

実習終了後の就農場所として、理想とする入植地の希望はありますが、設備投資、インフラ整備などの関係から、ご夫妻と意見交換を行いながら本協議会で協議を重ね適地を選定していく予定です。

- 南富良野支署費減(一般事務費、各種手当等) ▲26万8千円
- 占冠支署費減(一般事務費、市町村職員共済組合負担金等) ▲39万6千円
- 富良野消防団費減(警戒出動費用弁償、文具・消耗器材及び印刷代等) ▲109万7千円
- 南富良野消防団費減(訓練出動費用弁償、分団業務委託料等) ▲129万2千円
- 占冠消防分団費減(消防団員費用弁償及び旅費等) ▲27万7千円
- 富良野施設費増(富良野庁舎耐震改修整備工事費等) 9,173万5千円
- 富良野学校給食センター費増(燃料費及び光熱水費、賄材料費等) 20万8千円
- 南富良野学校給食センター費減(嘱託調理員賃金、通信運搬費等) ▲63万9千円
- 公債費減(地方債償還利子) ▲24万1千円

議案第3号 富良野広域連合消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定

第3次一括法(通称)が公布され、消防組織法の改正により、政令で定められていた市町村の消防長及び消防署長の任命資格を市町村の条例で定めることとされたことから、富良野広域連合消防長及び消防署長の資格を定める条例を制定

議案第4号 富良野広域連合消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正

「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が、公布・施行され、この法律の趣旨を踏まえ地域防災の担い手である消防団の強化及び消防団員の維持・確保のため、本条例の一部を改正

議案第5号 上川町村等公平委員会共同設置規約の変更

上川中部消防組合の解散

議案第6号 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

上川中部消防組合、伊達・壮瞥学校給食組合の解散

議案第1号 平成成26年度富良野広域連合一般会計予算

■平成26年度富良野広域連合一般会計予算概要

歳入区分	歳入金額	歳出区分	歳出金額
分担金及び負担金	19億7,328万4千円	議会費	462万6千円
使用料及び手数料	3,889万円	総務費	5,375万6千円
財産収入	370万9千円	衛生費	2億176万2千円
寄附金	1千円	農林業費	7,204万2千円
繰越金	1千円	消防費	12億4,938万5千円
諸収入	2億5,682万5千円	教育費	4億5,663万4千円
連合債	3,240万円	公債費	2億6,390万5千円
		予備費	300万円
合計	23億511万円	合計	23億511万円